

2023 最高？の夏休み

帯広市医師会
十勝勤医協帯広病院

ふかまち ともひろ
深町 知博

毎年、夏休みプランには頭を悩ますが、今年は特に困った。子供たちが小さい頃は、ひたすらキャンプへ行っていたが、子供たちがだんだん大きくなるにつれ、キャンプ労働？が毛嫌いされ、やれアシナガグモが嫌だの何だのと理由をつけられ、しばらく家族キャンプから遠のいていた。そうであればと、ここ数年は奮発してキャンピングカーをレンタルして出かけたが、今年はそのキャンピングカーも暑くて嫌だと言い出した(気持ち的には「言い出しやがった」)。今年は犬連れ、しかも大型犬(シベリアンハスキーとバーニーズマウンテンドッグのミックス、メス、2022年7月12日生)でもあり、大型犬と宿泊可能なロッジ、ホテルなど何度もネット中心に探してみたが、ものすごく高価(1泊1人>3万円など)のところは散見されたが、大人4人分で数泊となると予算外として却下した。

私は毎年お盆の週に土、日、祝日、有休などを合わせて10日前後夏休みを取らせてもらっているが、今年は8月5日(土)から15日(火)まで11日間休ませてもらった。これだけまとめて休みが取れるのは年に一度しかないのだから、当然、楽しく有意義に過ごしたい。毎年、3~5日は同じところに宿泊するようにしていて、例年宿泊先やキャンピングカーの手配は春先から予約していたが、先の理由でどこにも犬連れで泊まれるところが見つからず、夏休み前1か月を切った時点で、予定は最初の3日間しか決まっていなかった。その3日間は、父親の死去(2006年)後、年に一度の「兄弟のつどい」(「みんな仲良く。年に1度くらい集まれ」との父親の遺言によるものである)を取り行なった。最近では、母親のいる帯広に集まっている。私は男ばかりの3人兄弟で、1つ下の弟は新潟で矯正歯科を開業している。9歳下の弟は苦小牧で主にリハビリ医として働いている。それぞれ忙しいので、半年くらい前から予定を調整して集まった。新潟組は2歳、5歳を連れた甥っ子家族を含めて総勢7名、苦小牧組は家族4人が集合。実は、2年前に母親の「米寿」を兄弟以外に親戚も含めて大々的にしようとして計画を練っていたのだが、コロナで断念した。今年は「白寿」だが、コロナが終息したわけではないので、どうしたもんかと悩んでいた。入所している施設に相談したところ、外出、外食禁にしていると言われ、結局、弟たちは十勝川温泉に泊ませ、3日間、毎日、皆で面会(1回20分)に施設を訪れ、最終日、母親の誕生日に花束をあげ

て散会した。母親は相当認知症が進んできているが、毎回面会の別れぎわに、「(皆に会えて)こんな嬉しいことはない。生きていて本当に良かった」と言ってくれたことがとても印象的だった。

ここで突然話しは変わるが、私の今の趣味は風景写真を撮ることで、ちょうど、父親が死んだ年から始めた。今回、兄弟たちが集まるに当たって、温泉卓球以外に何か楽しい企画はないかと考えていたところ、閃いた。その名も「写真神経衰弱」。同じ写真をL版に2枚印刷して、トランプの神経衰弱と同じルールで同じ写真をめくったらその写真をもらえるというルールだ。風景写真のみならず、今まで撮り溜めてきた子供たちの小さい頃の変顔や、5年前の父親の法事の時の今回集まった弟たち家族のメンバーの写真も織り交ぜて、2日間で、おそらく100組近くの写真を提供した。これは、爆笑の渦で好評だった。うちの老健施設でお年寄りたちにも楽しんでもらえないか思案中だ。この3日間で、もうひとつ初体験をした。それは、ばんえい競馬だ。苦小牧の家族が、今回の集まりとは別に母親に会いに帯広に来た時に、ばんえい競馬を楽しんでいったみたいなので教えてもらった。時間がタイトで1レースのみだったが、単勝ははずれ、複勝は当たり、2,000円出資して1,100円戻ってきた。息子は単、複勝両方とも外れ、もう一生やらないだろうと言っていた。ちなみにギャンブルが昔から強い次男は人気あまり高くなかった9番に単勝をかけて当たったようだ。稼ぎ高は聞いていない。「お袋が90歳だから、最初から9にかけようと思っていた」と。甥の息子(5歳)は5年ぶりの再会(今回の「写真神経衰弱」では赤ん坊として登場)と娘(2歳。初顔合わせ)も超めんこく、最高に楽しい3日間であった。

さて、話は戻るが、この3日間以外予定が決まらず、家の片付けでもダラダラしながら過ごすしかないかと半ば諦めかけていた夏休み前1か月を切ったある日、「え~い、ままよ。ダメもとでかけてみるか」と阿寒の鶴雅系列の大型犬OKの宿泊施設に電話してみた(ここは高く敬遠していたところだった)。なんと、8月8日(兄弟たちは7日に帰った)から2泊3日のみ空いているという。しかも、1日1人2万円弱(朝食のみ。以前は夕食もついていたので優に3万円超えだった)。即決した。妻に褒められ喜ばれた(それだけでもOKか?)。10日に阿寒から帰宅後、8月12日には美瑛でプロの写真家(中西敏貴氏)の初プライベートレッスン(当日AM4時集合の為、美瑛に前泊。レッスン代3.5万円/6h)を受け、前田真三賞挑戦に大変示唆的な時間を過ごすことができた。13日夜は親しい友人家族と我が家の3F屋上で食事をしながら勝毎花火大会を堪能。15日はAM3時30分出発(14時帰宅)で研修医とともに十勝管内撮影行と、終わってみれば、とても充実した最高の夏休みであった。